

越智文雄の一言モノ申す!

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、安心安全な未来に向けた「気づき」を発信するコラム。
エネルギー・防災・防疫などの幅広いテーマで辛口甘口、縦横無尽に斬り散らかす!

コロナ後遺症? 不作為の罪

本

号が発行される頃には収まっていることを祈るが、この米騒動の愚かしさには辟易している。5キログラムで原価が85円のもの、2000円で売れる流通とは何か。私の人生ではビフォーコロナとアフターコロナで線を引いているが、コロナの後ではあらゆる常識も道徳も品格も劣化してしまい、日本の良き風習も商道徳もどこかに消えてしまった。儲けるところではいくら儲けても良い、世の中に指弾されない限り何をやっても良い、悪いことだとわかっていてもみんなで渡れば許される。そんなはずないだろう!

昨年の今頃で米不足ははつきりしていたし、どんどん値上がりしていた。この1年間これを放置していた農林水産省の役人は全員降格すべきである。1年前に今の対策を取れば、このような事態には至っていない。備蓄米を放出するとう当たり前の対策をなぜ1年前に検討もしなかったのか。当時の担当局長と担当課長とその部下の職

員たちは何をしていたのか。間違いない、その問題を職責とする人間たちが、十何人か何十人かいたのである。民間では仕事をサボタージュすると給料が下がるか降格させられる。公務員だから、何もしなくても罰せられないというのはおかしい。いろんな国家賠償訴訟で出てくるが不作為の罪である。

政治と行政の仕組みでは、国家公務員はそれぞれの職責を果たし、立法府はそれをコントロールし新たな改革を求める。コロナの前でも後でも同じだったはずだが、今これほどに社会の仕組みが劣化してしまったことが悔しい。職責というか、世の中での役割がある。米問題ではつきりしているように、世の中の危機を感じし未然に防ぐのが社会の仕組みである。司司の役割で私の司はエネルギーと電気料金。本誌でも繰り返し警告しているように、あと2年半で日本中の灯りが消える。

経産省の情報産業局が何の手立ても取らないでいると、米不足

どころではない経済安全保障問題が発生する。10億本の蛍光管に対して600万本の供給しかないことが分かっているながら、2027年問題は存在しないかのような不作為を続けている。これを自覚している(二社)日本照明工業会も同罪である。この事実を読んだ読者で対策を取るべき県庁や自治体や経営者の立場の人たちも、これを放置しておくならば同じ罪となる。これを社会に広げようというメディアも同罪。

口を閉じていると米は無くなる。目の前に迫った照明の2027年問題に目を瞑っていると、地域の明かりが消える。知事も首長も議員も経営者もメディアも司司でこの問題を真剣に取り上げて議論していただきたい。来年にはLED照明もなくなる。さて、やるべきことはわかっているのだから、その責にある人はやらなくてはならない。コロナの後遺症で、腑抜けになっしまった社会を元に戻そうではないか。



新・堤未果の
アンダーワールド



越智 文雄
エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局局長。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「(一社)日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。

株式会社あかりみらい

akarimirai

お問合せはこちら

0120-760-814

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

あかりみらい

【沖縄あかりみらい(株)】

沖縄県那覇市久茂地2-19-5

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17
セントラル札幌北ビル4階

【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル7階

【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階

株式会社あかりみらいプレゼンツ

越智文雄の一言モノ申す!